

市政を問う!

11 議員が登壇 (一般質問)

火山灰・空き家対策・国際課の創設について



五嶋 義行

五嶋 阿蘇中岳の火山活動が長期化する中で、WCSが収穫出来なくなった時に、途中から飼料用米に切り替える事ができるか。

本山農政課長 WCSについては実需者との供給契約を行っているため、基本的には途中から飼料用米に変更することはできません。しかし、今後非常に厳しい状況になれば、九州農政局と相談をしていきたいと思っています。但し、現在の状況ではライスセンターでの受け入れが100ha分で能力に限界があり、更に、販売先の確保等の課題が生じてまいります。

空き家対策について

五嶋 人口の減少化を防ぐ方法として、空き家対策事業が展開しているが阿蘇市の現状は。

吉良観光まちづくり課長 空き家の定住化に関しましては、空き家バンク制度を創設し、空き家の情報を提供する仕組みを現在準備しております。

五嶋 阿蘇市の取組が他市町村より遅れているように感じるがいつ頃までにそれが出来るのか。

観光まちづくり課長 昨年からの取組んでおりますので27年度の早い段階でホームページ上に載せ、実際の貸し借りの部分は、不動産屋を入れたほうがいいかと思えます。

国際課の創設について

五嶋 国際環境観光都市を目指す、阿蘇市として国際課の創設は。

佐藤市長 将来的に国際課を設置できるように阿蘇市づくりを進めてまいります。しかしながら現段階では、世界農業遺産、世界ジオパーク、世界文化遺産といずれも阿蘇地域が一体となり、また、熊本県も関わり事業も進んでおりますので、先ずは熊本県阿蘇地域振興局に国際課というものを設けられて、その内容を充実して頂く方が無理がないと思いません。



山上広場での噴煙状況

阿蘇医療センター―市の財政について



市原 正

市原 医療センターが公営企業会計の全適に移行したが、それ以前の病院事業会計時の累積赤字5億6千万円の処理はどうしたのか。

井野医療センター事務局長 阿蘇

医療センターの会計は、旧阿蘇中央病院の会計をそのまま引き継いでおりますので累積赤字として引き継いでおります。

市原 今医療センターに5億6千万円という数字が残っているということか？

事務局長 はいそうでございます。

市財政について

市原 市財政について、今までの市長の施政方針や監査委員からの意見書などで市財政は健全と説明を受けていたが、今回の市長の施政方針に「依然として厳しい財政状況にある。」との言葉が出てきた。いつ頃からこのような状況になったのか。

宮崎財政課長 財政指標において

は、あくまでも日々の財政運営の結果であり、阿蘇市の場合自主財源が3割弱です。残り7割は国県の補助金、それと地方交付税、あとは起債です。財政力が弱い自治体の一つになります。予算編成の中で市民生活に直結した政策は必要不可欠です。また、関連事業も含めた災害復旧の事業費も年々増加しています。社会保障経費の確保、又今年度から始まる地方交付税の削減などの状況を見ますと財政状況が厳しいという現状は否定できません。財政課として、常にも危機感を持って取り組んでいる状況でございます。



医療センター

区長要望について



大倉 幸也

大倉 各区の区長さんからのインフラ整備、災害関連工事等の要望は年間にどのくらい上がってくるのか、それに対する対応は。

井建設課長 毎年平均で150件

位の要望が上がってきます。道路、水路、河川についての対応ですが、全体の58%が対応できています。中でも、里道、水路等につきましては、原材料支給という形をとらせていただくこともあります。

災害関連では、人命に関わる箇所は早めに対応していますが、その外については、一般財源でやると費用が掛かるので、補助金等を探して対応していきま。近年2〜3年につきましては対応が出来ていない所が多くなっています。

降灰対策について

大倉 火山灰の降灰の被害が広がりつつあるが農業、観光、市街地への今後の対策は。

本山農政課長 現在洗浄機等の導入補助を予算化しました。今後春先になり、風向きが変わると市内への被害拡大が予想されますので、国の火山活動周辺地域防災営農対策事業の認定に向けて、取り組んでいるところです。

吉良観光まちづくり課長 観光客の入込みは、平均して二割の減になっております。今後、ガス対策を行い、今しか見ることのできない火山活動ということで誘客を図ってきたいと思っております。

阿部住環境課長 国の補助事業を受けるために、現在、降灰量の調査を行っています。また、処分地がないという方には、市役所及び各支所に灰の回収ボックスの設置をして、持ち込みをいただいている状況です。

阿蘇医療センターについて

大倉 常勤医師が4月から四名増えて九人体制になるが、医療体制の改善は。

井野医療センター事務局長 内科医が二人、神経内科医が一人、消化器外科医が一人で、皆さん外来を担当されます。ご迷惑をおかけしていました待ち時間の解消にもつながると思います。

「プレミアム付き商品券」 地域活性化にどう生かすか



森元 秀一

森元 「地域喚起・生活支援型」の交付金を利用した事業「プレミアム商品券」地域活性化をどう生かすのか。アイデアはスピードが必要。期間、または、商品券の発行は住民のニーズをしっかりと反映されなければ最大の効果は望めない。効果を高める方法と、市の取り組みは。

吉良観光まちづくり課長

利用期間は平成27年7月から28年1月を予定しています。地域の方だけでなく、降灰の関係もあり3億円の発行ですが、6千万円程度は観光客等の市外の方も購入し使えるようにしたいと考えてます。

森元 経済効果の数値目標は**観光まちづくり課長** 地元の方

については日用品に消えるのではないかと思います。観光客は、当然旅行の商品券も県の方で発行されますのでそれに合わせてその2倍、3倍の効果を出していきたい

と思います。前回の成功事例もありますので商工会を通じて商店の皆様へ伝え、良い展開ができるよう取り組みます。

空き家活用について

森元 空き家対策においては、防災面、景観面、高齢化社会を迎えるにあたっての低価格高齢者住宅、市の積極的な対策が求められる。市長の今後の取り組みは。

佐藤市長

空き家対策については喫緊の課題だと認識しています。市としても、定住化を進めるために、少し補助を出すとか議会の方にも提案しながら、よりスムーズに空き家の利活用が進むよう、また、来ていただけの方にも喜ばれる制度となるよう取り組みで参りたいと思います。

他に「公衆無線LAN、WiFiの環境整備をどう考えているか」「危険ドラックから青少年を守る対策は」についての質問がありました。

スクールバスの停留所は安全な場所に



井手 明廣

井手 阿蘇市内の各小中学校でスクールバスを運行している学校は。

園田教育部長

全国的には、義務教育課程では原則中学校で6km、小学校で4km以上を遠距離通学者としてスクールバスによる送迎を行っています。阿蘇市内の小中学校では、役犬原・乙姫・碧水小学校の統合により開校した阿蘇小学校で2台、波野小中学校で3台運行しています。中学校では、阿蘇中学校が5台運行しており、合計10台で児童・生徒の送迎を行っています。

井手

安全なスクールバスの停車位置の確保、またその場所に停留所の表示の看板を立てたらどうかと思うが。

教育部長

道路改良などにより残地など停留所として確保しておりますが、カーブの中に停留所があったりします。今後安全な場所をまず確保し、児童数によっては場所を変えなくてはいけない場合もあり、今後見直しを検討したいと思っております。

す。また、停留所についてはわかりやすい表示を今後していきたいと思っております。

井手

一の宮小学校で来年始まるスクールバスの送迎はどうなるのか。

教育部長

統合準備委員会の通学部会で保護者代表、先生方を中心に検討されており、停留所の位置、それから運行時間等協議されておりま。1台目は中通・古城地区、2台目に古城3区のA、3台目に古城3区のBと古城1区、又、坂梨地区も予定しておりますが児童数も少ないことから、タクシーへの切り替えも今後検討していきたいと思っております。

小嵐山公園について

井手

以前から指摘していた小嵐山公園のフェンスの張り替えの改修は。

吉良観光まちづくり課長

地元の意見を聞きながら今後検討したいと思っております。

佐藤市長

管理者として施設の安全確保は当然であり、早急に出るかどうかが、現場を再度確認したうえで進めていきたいと思っております。



バス停留所